

第173回電波利用懇話会 「衛星通信と5G/Beyond 5Gの連携について」

ご 案 内

一般社団法人電波産業会

第5世代移動通信システム(5G)によるサービスが日本でもいよいよ開始されます。5Gは、その「超高速・大容量」、「超低遅延」、「多数接続」といった特徴から様々な産業で利用され、社会に革新をもたらすものと期待されています。

一方、衛星通信は、従来から広域性やマルチキャスト/ブロードキャストの特徴を生かしたサービス、災害時の緊急通信などで威力を発揮してきており、さらに近年ではハイスループット衛星と呼ばれる大容量通信衛星やメガコンステレーションと呼ばれる多数の低軌道衛星を利用した衛星通信システムなど衛星の通信容量の大容量化、回線制御の柔軟性の向上、通信コストの低減が図られ、衛星サービスの向上に期待が高まっています。

このような状況のもと 5G における衛星通信の役割が注目され、欧州では官民共同のプロジェクトが活発に活動し、3GPP における 5G の標準化でも衛星との接続が検討されています。

国立研究開発法人情報通信研究機構では、2019年8月より「衛星通信と5G/Beyond 5Gの連携に関する検討会」を開催し、国内の地上通信事業者、衛星通信事業者、メーカー、ポテンシャルユーザ、調査研究機関等の参加により、衛星通信と5Gを連携させることによる有効なユースケース、必要な技術課題と実現方法、評価とデモンストレーション、標準化、将来のBeyond 5Gにおける衛星通信への要求等について検討してきており、この度報告書がとりまとめられました。

今回の電波利用懇話会では、国立研究開発法人 情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク総合研究センター 宇宙通信研究室 主任研究員 三浦 周 様をお迎えして、検討会報告書の内容をご解説いただきます。

会員の皆様には、是非ともご参加下さいますようにご案内申し上げます。

記

- 1 日 時 : 2020年4月3日(金) 午後1時30分から3時まで
- 2 場 所 : 一般社団法人電波産業会 会議室
東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
- 3 題 名 : 衛星通信と5G/Beyond 5Gの連携について
- 4 講 師 : 国立研究開発法人 情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク総合研究センター
宇宙通信研究室 主任研究員 三浦 周 様
- 5 参 加 者 : 70名程度(定員になり次第締め切らせていただきます。)
- 6 申 込 先 : 当会ホームページの講演会等開催案内よりお申込ください。
(<https://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html>)
- 7 参 加 費 : ARIB正会員、賛助会員は無料、非会員は5,000円
- 8 問 合 せ 先 : 企画国際部 電波利用懇話会事務局 小田島 まで
TEL: 03-5510-8592 E-mail: arib-seminar2020@arib.or.jp

以上